

第5期定時総会・懇親会開催



2018年4月21日(土)東京グランドホテルにおいて全日本ポスティング協会第5期定時総会を開催致しました。

総会ではまず、森神副会長の開会の辞で幕を開け、白井会長挨拶、出席者の紹介、そして議長選出では株式会社ファームヒルズの吉田部長が選ばれ、引き続き議事録署名人の指名、総会成立報告が事務局より告げられました。

議案審議では、はじめに決算報告がなされ、続いて第5期事業計画案、管理責任者制度事業(継続事業)より多くの責任者を育てるとともに、グッドポスティングマーク「安全性評価制度事業」申請受付を開始して積極的に進める旨の説明があり、さらに予算案の発表がなされ承認されました。

第4号議案で理事全員の任期満了に伴う新理事選任の件が審議され、17名の理事が継続して務めると共に、新たに株式会社トラストスピード代表取締役 坂田周(東京都)、ペー

パーネット沖縄株式会社執行役員営業本部長 山田親亨(沖縄県)、株式会社ポスティクル代表取締役 山田英則(福岡県)、パワフルポスト代表取締役 小川洋次郎(兵庫県)4名が新任理事として承認されました。

続いて、第5期会費額及び報酬額の決定が承認され、議案審議全てが終了、西協副会長のご挨拶で閉会致しました。

総会終了後、16時より全日本ポスティング協会懇親会が開催されました。

開会にあたり、白井会長よりご挨拶を頂き、安全性評価制度事業ならびに管理者責任者制度事業の経過報告、またこれからの展望について山田理事よりご案内を申し上げ、続いて、祝辞、来賓紹介が行われ、今期より安全性評価制度の審査委員会委員長を務めて頂く佐藤弁護士、日本ポスティング協同組合理事長西原様にご挨拶を賜り、稲村副会長より乾杯のご発声を頂き懇親会は幕を開けました。

しばしご歓談が続く中、当協会青年部会の活動について青年部会長の坂田理事より報告がなされ、事務局より今年新会員になった会社様のご紹介が行われました。

宴もたけなわの中、全国より総勢120名が集まり、懇親会を大いに盛り上げて頂き、最後に武田専務理事の閉会のご挨拶で、全日本ポスティング協会懇親会は無事に終宴を迎えました。



ポスティング安全性評価制度 (GPマーク)の開始報告とその未来像

GPマーク始動のご報告

これからのポスティング事業は、今まで以上に「信頼性」「安全性」の視点から優良な事業者が選ばれる時代です。

同時に、生活者の視点からの「安心・安全・信頼」を醸成していかなければ、やがて法的規制の声も湧き上がってくるのが危惧されます。

そこで、当協会では、発注者がより信頼性・安全性の高い事業者を選択しやすく、そして生活者に安心・安全・信頼を得られる環境整備を図るため、ポスティング事業者の信頼性・安全性を正に評価・認定し、それを公表する「ポスティング安全性評価制度」(GPマーク)の認定制度をスタートいたします。

その評価対象は、「自社で管理する配布員を擁し、ポスティング事業を営む法人」としております。申請の申込みがあると、申請資格を満たしているか、必要書類の提出がなされているかの確認後、まず書類審査を行います。

その後に審査委員会による現地調査があり、改善点があればそれを勧告し、それらを数値化した各項目が基準点を満たしていれば認定となり、認定番号やGPマークの付与がなされます。

現在、発注者がポスティングの依頼をしようとした場合、何を基準に業者を選択するのか、どこの業者がきちんとしているのかなど、発注をしてみないと分からない状況です。

更に自社で配布員を擁していない業者も数多くあり、まず早急にこれらの基準をつくるのが最優先だと当協会では考えました。

将来的にこのGPマークが信頼性と安全性を擁する証として、ポスティング業界・発注者・生活者へ広く浸透していくことを目的とし、この制度を推進してまいります。

審査委員長 就任ご挨拶

今期より安全性評価制度の審査委員長を第三者委員会の長として東京四谷法律事務所の佐藤慎弁護士に就任していただきました

この度、ポスティング安全性評価制度審査委員長を拝命いたしました弁護士佐藤慎でございます。身に余る大役ではございますが、職務を全うさせて頂く所存ですので、何卒よろしくお願いいたします。

さて、昨今の報道からも、企業を含めたあらゆる組織におけるコンプライアンス違反に対して、社会の目はますます厳しくなっていることが実感されるところであります。

こうした状況において、企業としては、コンプライアンスに配慮「しなければならない」、という受け止めかたをすることが多くなってしまふところかと存じますが、本来、コンプライアンスの徹底によって得られる利益は、企業側にあると私自

身は考えております。

企業が永続的に発展していくためには、企業が関わる関係先・地域社会への貢献が不可欠であり、その前提としてコンプライアンスへの配慮もまた不可欠であると考えられるからであります。

ポスティング安全性評価制度の実施は、ポスティング業界の発展にとって、極めて重要な取り組みであり、安全性評価制度が確立することによって会員の皆様の持続的な発展に寄することは間違いありません。

どうぞ、ポスティング安全性評価制度への皆様のご理解ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

☆Brill Car Service☆

☆会員様限定サービス「Brill」始めました

月々1万800円で乗れるコミコミプラン

「MBP」は自動車税・重量税・自賠責保険の維持費もコミコミにして頭金0円、月々10,800円(税込)から新車に乗れるプランです。

リース料に 含まれる費用	車両本体価格 フロアマット・パイザー	登録諸費用 カーナビ・ETC取付	自賠責保険 税金
リース満了後は 選べる4タイプ	新しい車に乗り換える 同じ車に乗り換える	車を買い取る 車を返却する	

詳しくは、【Brill事務局】まで
お問い合わせ下さい

TEL:0120-020-813



広告枠を新設しました。掲載申込は協会事務局までお問合せ下さい。

申請手続きから認定までのフローチャート

【1】申請資格要件をみたしているか

- ①ポスティング業であること
- ②社歴（3年以上）
- ③必要な規模（配布員10名以上）
- ④ポスティング管理責任者の登録内容（氏名・番号ほか）
- ⑤2年間の間に重大な配布事故があった場合は自粛



【2】申請書類の記入

- ①申請書各種の記入
- ②ポスティング安全性評価に対する取組状況自認チェック表の記入（各様式をHPよりダウンロード）

【3】自認事項を証する書類の準備

- ①各種帳票類
- ②各種契約書等
- ③その他

【4】申請書類の提出

- ①提出先 一般社団法人 全日本ポスティング協会事務局
- ②返却について 頂いた書類は返却不可

【5】審査の実施

【6】審査委員会による現地訪問

【7】認定

- ①認定番号の決定
- ②通知

【8】GPマークの付与と公表

- ①WEB
- ②広報誌
- ③経産省等公的機関との共有



管理責任者検定 及び 管理責任者証について

第4回 福岡検定 第5回東京検定 報告

2018年2月10日(土)、九州の博多にて第4回ポスティング管理責任者講習会ならびに検定を開催し、25名の方にご参加頂きました。

午前の講習は川井理事、午後の講習は山田理事に行って頂き、25名全員が合格致しました。

その後2018年3月17日(土)には東京にて第5回ポスティング管理責任者講習会ならびに検定を開催致しました。

29名にご参加頂き、午前の講習を伊藤理事、午後の講習を山田理事にて行い、こちらも29名全員が合格致しました。

これまで計5回の検定の結果、受講会社は正会員40社、特

別会員1社、一般会員41社の計82社にわたり、全国に237名の管理責任者が誕生致しました。

当協会は今後も定期的に検定を開催し、より多くの皆様に受講頂きたいと考えております。

第6回目以降のご案内は追ってご連絡させていただきます。



2月福岡検定



3月東京検定

管理責任者証 どのように活用していますか？

2017年6月に第1回の検定試験を行わせて頂き、2018年3月までに東京・大阪・福岡と計5回の講習会及び検定が行われてまいりました。

現在までに237名もの管理責任者が誕生しており、ポスティング業界としての品質向上に大きく貢献して頂けている事と思えます。

ここで、改めて管理責任者制度の概要と目的を振り返ってみたいと思います。



概要

ポスティング管理責任者制度は、ポスティング業務に携わる現場及び管理担当者等が、業務内容の精度だけでなく、全日本ポスティング協会の定めるポスティング・ガイドラインに沿った法令遵守に基づき、講習審査を経て個人に付与する制度です。

目的

ポスティング業務としての品質を向上させることにより、投棄・誤配などを未然に防ぐ努力を明確にし、クライアントや社会の信頼性を高め、同制度認定者をポスティング事業者が擁することによって大きなアドバンテージとなることを目指します。

今回、記事として大きく取り上げさせて頂いた理由としては、せっかく取得して頂いた「管理責任者証」をどの様に使っていきべきかを考え、お伝えする為に記事とさせて頂きました。

この度、検定合格者の方々にお聞きした所、有効活用されていない方もいる様です。皆様方の会社では如何でしょうか？管理責任者証に関しましては、グッドポスティングマーク取得の

為の1つの条件ではありますが、勿論その為だけに存在する物ではございません。テキストを含め、有効活用して頂いて初めて意義のある合格証となっていきます。

それでは、管理責任者証をどの様に活用すべきなのか、実際に有効活用されている方々にお伺いしましたので、ご紹介させて頂きたいと思います。

管理責任者証 活用事例

CASE.1

営業ツールの1つとして使用

「ポスティング業界の現状を伝える材料の一つとして使っております」

管理責任者証を実際に手に取ってもらいながら「今までは業界としては百社百通りの管理方法や基準があり、客観的には何が正しいのかもわからない状況が続いていましたが、『管理の基本を理解できている管理者がいるかどうか？』といった面では、明確な基準ができつつあります。」というような話をしたところ、発展成長をしている業界と理解を得られ、ポスティングが良い広告媒体として改めて認知していただきました。



CASE.2

管理体制の説明に使用

新規クライアントとの打ち合わせの際、「御社はどのような管理体制を取られていますか？」と質問される事がよくあります。

この様な時に、管理責任者証と教本を見せて、教本の中身を説明させて頂く様にしております。教本の中身を確認して「ここまでやってるんだ！？」と驚かれる事がよくあります。教本をキッカケにして、安心して配布を任せて頂ける事もありました。

実際の信頼を得るには、配布で結果を出す事が1番ではありますが、入り口の段階で安心と信頼を得られるツールとしては非常に役立つと思います。



CASE.3

クレーム対応に使用

配布をすると、厳しいクレームになってしまう個人宅に誤って配布を行ってしまった事がありました。チラシの回収を希望されていたので、お伺いした所、かなりお怒りの状態でひたすら怒られていたのですが、「お前の所はどんな教育をしているんだ！」と言われた際に、謝罪と共に教本を見せて「今、この様な体制で配布員の教育を行い始めた所なんです」と説明をした所、「こんな事やってるのか？」と感心して頂き、その後の話はとても穏やかに進み、何事もなく謝罪を受け入れて頂きました。

当然、次に同じお宅に配布してしまうと大変な事になってしまうのですが、配布業者も真剣に考えて配布を行っていると言う事を伝えるのも大切な事なんだと思いました。

interview

会員企業インタビュー Vol.4



株式会社ジーエムピー

代表取締役社長 稲村 匡咨 氏

皆さん こんにちは！会社訪問第4回目は、株式会社ジーエムピー様にお邪魔しました。

川井(以下省略)：こんにちは！人が沢山いらっやいますね。

ー 一体全部で何名程の従業員さんがいらっやるんですか？

〈稲村社長(以下敬称略)〉配布員さんを除いて裏方だけで、全従業員数60名ほどはいますね。

ー やはり沢山の従業員さんがいらっやるんですね。ジーエムピーさんという、ポスティング以外の事業にもかなり力を入れているとお聞きしていますが、各事業の割合はどのようになっていますか？

〈稲村〉ポスティングが約30%、セールスプロモーションが5%、人材派遣が65%ですね。

ー なるほど！ポスティングは何ヶ所で何名程で稼働しているのですか？

〈稲村〉東京2箇所、神奈川3箇所、埼玉2箇所、千葉2箇所、全部で9拠点です。配布員さんは常時150名います。

ー 150名ですか！学校の1学年ぐらいいますね。すごいです。やはり管理には気を遣っているのではないですか？

〈稲村〉管理に関しては基本的に会話重視です。三ヶ月に1回、各拠点で配布員さんと管理者で懇親会を行っており、コミュニケーションを大切にしています。

年次のバス旅行に参加してくれる配布員さんもたくさんいます。

協会の管理責任者検定を積極的に受講しており、管理責任者は計15名います。



ー 確かによく配布員さんとお食事会やイベント事をされているとお聞きします。コミュニケーションをとても大切にされているんですね。

〈稲村〉仕事は人が資本で宝であり、困ったときにはその人が助けてくれるのでコミュニケーションは社の方針になっています。

ー とても勉強になります！

〈稲村〉弊社の特徴は、配布員さんから社員になるケースがほとんどということです。ポスティングってどちらかというと最初はおとなしい人が多いですが、生き生きとした営業マンや管理職に育ってくれています。

ー やっぱりこれは稲村社長の人間味が出ていますね！そういえば社員の方は、どなたにあっても生き生きとしていて楽しそうです。

〈稲村〉照れますね。ありがとうございます。

ー ジーエムピーさんは社内のサークル活動もとても活発ですね。

〈稲村〉そうですね。配布員が参加するのは野球チーム、従業員の間ではフットサル、キックボクシングを定期的に行っています。区の大大会にも出たことがあるんですよ。

ー よく働いてよく遊んでよく飲んで・・・本当にお手本のような会社ですね！そういう魅力的な会社になりたいって思っている方って、全国に

多いと思うんですよ。コミュニケーションを大切にしているとおっしゃっていましたが、その秘訣はなにかありますか？

〈稲村〉私には一つの持論がありまして、「想えば想われ尽くせば尽くされる」という言葉が大好きなので、人との付き合いは想いから入っていくものと考えています。なので、私は必ずコミュニケーションの中で自分の想いを最初に相手に伝えるというのが習慣になっています。



ー すごいですね！今期からは協会の副会長に就任されましたが、是非その想いを協会にも広げていただけたらととても嬉しいです。

〈稲村〉はい。もう業界に24年お世話になっておりますので、後輩経営者も多くいると思います。色々な席でコミュニケーションを図りながら、業界の発展をともに考えられる集団にしていこうと思っています。

ー そういえば先日飲んだ席で、座談会を地方で行い一緒に協会の取り組みを理解してもらうように回ろうという話で盛り上がりましたよね。

〈稲村〉はい、その通りです。一度真剣に企画をして、川井社長ならびに賛同者の社長とともに地方に赴き、座談会の中でお困りごとなどを聞きながら、ポスティング業界のさらなる前進に繋がりたいと思います。

ー ぜひ一日も早く一緒に全国のポスティング仲間会いたいですね！

〈稲村〉そうですね！

ー そろそろ紙面も残り少なくなりました。次回訪問する会社様はどちらにいたしましょうか？

〈稲村〉次回は株式会社クレールの代田社長を推薦いたします。

ー 代田社長ですか！とてもパワフルな方ですね。関西弁がとても合う愉快的な社長さんですね。

本日はお忙しい中、稲村社長ありがとうございました！



株式会社ジーエムピー

本社所在地：東京都千代田区神田神保町 1-13
 代表取締役：稲村 匡咨
 事業内容：ポスティング／セールスプロモーション／人材派遣

ポスティング業界数値の必要性

ポスティング業が現在全国で何社存在し稼働しているのか？総売上はどれ程か？等の数値はなかなかつかみ取れておりません。当協会が現在把握できているポスティング業者数は全国で414社(社名、代表者、住所、電話)です。主にネットより情報収集した数値ではありますが、近年新たに参入される企業も増えてきております。

次の表が現在把握出来ている47都道府県におけるポスティング業者数になります。

都道府県名	業者数	都道府県名	業者数	都道府県名	業者数	都道府県名	業者数
北海道	13	東京都	88	滋賀県	6	香川県	3
青森県	3	神奈川県	36	京都府	6	愛媛県	4
岩手県	1	新潟県	5	大阪府	35	高知県	4
宮城県	5	富山県	2	兵庫県	6	福岡県	35
秋田県	1	石川県	4	奈良県	4	佐賀県	1
山形県	2	福井県	2	和歌山県	1	長崎県	2
福島県	3	山梨県	1	鳥取県	1	熊本県	2
茨城県	8	長野県	6	島根県	2	大分県	5
栃木県	3	岐阜県	6	岡山県	6	宮崎県	1
群馬県	6	静岡県	13	広島県	6	鹿児島県	2
埼玉県	21	愛知県	23	山口県	2	沖縄県	5
千葉県	18	三重県	4	徳島県	1	合計	414

上記表はあくまでも協会が把握しております業者数です。今後ポスティング業者数の完全把握をし、総売り上げが如何程あるのかの実態を調べることが必要です。

2013年に改訂された現行の「日本標準産業分類」には、広告業(分類73)の分類7311広告業のその他(分類9299)に「サンプル配布業、ポスティング業、ちんどん屋」と記載分類されております。

今後、業界数字を把握して総務省に少なくとも5年間の推移を提出することによって、将来日本における「日本標準産業分類」の広告業(分類73)に一つの業種として「ポスティング」というインデックスが出来ることを目指すことが必要です。これにより日々配布をしていただいている配布スタッフの社会的地位の向上にも繋がり、官公庁の入札案件の登録業種記載欄に「ポスティング業」と明記することになり、業種として明確になることは間違いありません。

今秋には大規模な調査を行う予定になっております。この時

の調査には株式会社電通のご協力も得た上で実地されます。この調査には、会員全体と共に会員以外のポスティング業者のご協力をお願いいたします。

※ 標記の都道府県ポスティング業者数について、実態と異なる内容がありましたら事務局にご連絡ください。



青年部会 活動報告

■ 新会長に就任した坂田会長よりご挨拶

我々青年部会は、現場により近く、将来を担っていく若者によって組織されております。

現場の声を、協会に届けることにより、業界全体の発展繁栄に寄与するべく活動しております。

また、協会に参加されております各会社様の若手の横のつながりを重視し、青年部会に参加している担当者が日々の業務の円滑化にも寄与しております。

これから、更なる組織の強化、会員増強を図り、協会が実施している各事業をしっかりと支援していけるように、ま



た、青年部会参加者の業界に対しての意識高揚も図って参りますので、ぜひ皆様青年部会にご参加いただけるようお願い申し上げます。



定時総会にて 就任挨拶

事務局だより

林幹雄衆議院議員名誉顧問に就任いただく

白井会長と役員3人が去る4月13日に、元経済産業大臣現在自民党幹事長代理の林幹雄衆議院議員を自民党本部にお訪ねして、当協会の名誉顧問にご就任いただける運びとなりました。

今後、ポストイング業界発展にご尽力いただける事とお言葉をいただきました。



府中市ごみカレンダー問題について

先般TV、新聞報道ですでに情報として目にした方も多い事と思いますが、東京都「府中市ごみカレンダー」配布を受託業者が市民の多くに未着でした件に関して、末端での配布業者は当協会会員が関わっておりました。

本件に関して協会理事会に於いて2回に渡り実態報告を受けました。協会としての最終結論は現在出ておりません。もう少し実態調査をした上で、会員の皆様には再度ご報告申し上げます。

配布のクオリティーを一番に現在「管理責任者制度」「安全性評価制度」を協会では進めております。今後事故防止をお願い致します。

編集後記

いつも協会活動にご協力頂き、ありがとうございます。

ここまで読んでいただき、もうお気づきだと思いますが、広報誌POSTIMEのページ数が徐々に増えてきました。協会の事業が具体的に動き出して充実してきた証なので、大変嬉しく思います。編集作業にも力が入ります。

皆様によりわかりやすく協会の活動内容を伝えたいと

思っていますが、至らない部分もあるかと思えます。

ポストイング業界の中にはフリーペーパーや社内報の発行に慣れている会社もあると思いますので、専門家の視点で、広報誌についてご意見、ご感想、改善点のアドバイスなどがございましたら事務局までご一報いただけると幸いです。

記 川井・岡田

